

平成19年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校5年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点			
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
①	1	(1)	数量関係 4年	D (2) ア 四則混合の式	四則の混合した式の計算の順序を理解していること。				○
②		(2)	数と計算 5年	A (3) ウ 小数÷整数	小数÷整数の計算ができること。			○	
③		(3)	数と計算 5年	A (3) ウ 小数×小数	小数×小数の計算ができること。			○	
④	2	(1)	数と計算 5年	A (2) ア 小数の記数法	十進位取り記数法に基づいて、整数及び小数の構成ができること。			○	
⑤		(2)	数量関係 5年	D (1) ア 分配法則	簡単に計算するために、分配法則を使うことができること。			○	
⑥		(3)	数と計算 5年	A (1) ア 偶数，奇数	奇数について理解していること。				○
⑦		(4)	数と計算 5年	A (3) ウ 小数÷小数	あまりの大きさについて理解していること。				○
⑧		(5)	数と計算 5年	A (2) ア 小数の記数法	数直線上に表示された測定値（小数値）の読み方を理解していること。				○
⑨	3		量と測定 4年	B (1) ウ 複合図形の求積	複合図形の面積の求め方を考えることができること。		○		
⑩	4	(1)	数と計算 4年	A (5) イ 分数の意味	単位分数の幾つ分というとらえ方で考えることができること。		○		
⑪		(2)	数と計算 4年	A (5) イ 分数の表し方	仮分数と帯分数で表すことができること。			○	
⑫	5	(1)	図形 5年	C (1) ア 直線の垂直と平行	平行や垂直な直線を引いて、位置を見つけることができること。			○	
⑬	6	(1)	数量関係 5年	D (1) ア 分配法則	結合法則や分配法則を使って、工夫した計算の仕方を考えようとする事。	○			
⑭		(2)	数量関係 4年	D (1) ア 伴って変わる二つの数量の関係	テーブルといすの数の変わり方について、表にかいて調べることができること。			○	
⑮		(3)	数量関係 4年	D (1) ア 伴って変わる二つの数量の関係	テーブルといすの数の関係について考えることができること。		○		
⑯	7		数と計算 5年	A (3) ウ 小数÷整数 小数×小数	小数の乗法・除法の計算を用いて、長さの求め方を考えることができること。		○		
⑰	8		数と計算 4年	A (2) イ 四捨五入	熊本県の人口をがい数で表す適当な方法を、状況から考えることができること。		○		
⑱	9		数と計算 5年	A (3) ア 小数×整数	小数×整数の計算の仕方を考えることができること。		○		
⑲	10	(1)	図形 5年	C (1) イ, ウ 四角形の定義と性質	四角形の定義や性質を理解していること。				○
⑳		(2)	図形 5年	C (1) イ 四角形による敷き詰め	四角形を使って図形の敷き詰めをしようとする事。	○			